



教職員委員会 NEWS

No.16

おひさしぶりです。「教職員委員会ニュース」です。しばらくお休みしていましたが、二年ぶりに発行の運びとなりました。存在を知らなかった、という教職員の方もいらっしゃると思います。あらためてよろしくお願いたします。

➤ どこでもドアのかぎ 6 発行

年に一度、教職員のみなさまから、学生に読んでもらいたい本を推薦していただき、冊子として発行している「どこでもドアのかぎ」2002年3月には、第6号を出すことができました。原稿をお寄せ下さった先生方、どうもありがとうございました。

印刷・製本作業は、教職員委員会・学生委員会が合同で行いました。作業の様子は、生協ホームページでもご紹介しています。

3月20日、卒業式の日、卒業生全員に配布したほか、新年度になってから、在校生（新一年生・二年生）にも配布しています。また、せっかく選んでいただいた推薦書ですので、多くの学生に読んでもらえるように、読書感想文を募り、コンクールを催す計画もあります。先生方のご協力がいただければ実現することでしょう。どうかよろしくお願いたします。

➤ 桜前線が速すぎて

毎年4月には、新しい教職員を歓迎し、親睦をはかる目的で、お花見を催してきました。付属幼稚園の桜、じゅんさい池公園の枝垂桜、内野小学校の桜などを楽しんできましたが、今年は、ご存知の通り、桜前線が全速力で走り去ってしまい、開催が間に合いませんでした。新人のみなさま、また、毎年楽しみにしてくださっていたみなさま、申し訳ございませんでした。

かなり遅れますが、7月頃には何か催しを持ちたいと考えていますので、いましばらくお待ちください。

➤ お茶を飲みながら、気軽にお話を

5月10日（金）昼休みに、久々の茶話会を開催しました。生協のお茶とお菓子、新茶やシフォンケーキを囲んで、よもやま話を交えつつ、教職員委員会はこれからどんなことをやっていったらいいか、意見交換をしました。

活動方針などは、いずれあらためて委員会を開催し、その席上で定めることとなりますが、これから茶話会をなるべく定期的に開きましよう、という点で意見が一致しました。

詳細がまとまりましたら、またお誘いさせていただきますので、どうぞお気軽にお越しください。

➤ 第6回通常総会 開催せまる！

第6回通常総会が、5月20日（月）に開催されます。生協の経営状況をチェックし、理事会・学生委員会・教職員委員会のこれまでの活動を振り返り、これからの計画を検討する、年に一度の機会です。理事・幹事等役員の改選も予定されています。組合員のみなさまには、ご多忙のこととは思いますが、ぜひ万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願いいたします。

なお、当日ご都合がつかない場合は、議案書と一緒にお届けする「書面議決書」を出していただければ、「書面出席」となります。この場合は、議案書をよくご覧いただき、所定の事項を記入した上で、封筒に入れて糊付けし、割り印を押した上で、お近くの理事などにお渡しください。

きき耳ずきんのコーナー

キャベツ地獄とキャベツ天国

水上則子

国際教養学科では、毎年四月に、一年生と二年生の「交流会」を開いています。ロシア語・中国語・韓国語、それぞれのコースの二年生が趣向を凝らして、民族衣装を着てみせたり、実地研修の体験を紹介したり、語学の先生の棚おろし(?)をしたり、各国の料理を作ったりと、にぎやかに過ごす会です。今年もいろいろなお馳走が並びましたが、何しろ150人分ほどにもなるので、材料の見当がつけにくく、どっさり余りものが出たりします。ロシアの学生達は、ボルシチを作ってくれたのですが、会が違って片づけを始めたとき、大量のキャベツが残っていることが分かりました。丸のままのものが7個くらい、そして、1センチほどに刻んだものが、大きなビニール袋一杯。

切っていない方は、自炊の学生や先生が手分けして引き受けることになりましたが、刻んだ方はさすがに名乗り出る人がいません。・・・しばらく考えた後、頑張ればザワークラウトになるかもしれない、と、お引き受けすることにしました。

帰宅して重さを量ってみたところ、7キロありました。(もちろん、調理用のはかりには乗りません。袋を持って体重計に乗ったのです。)一度に扱えるのはせいぜい一キロ分。洗って、なるべく細く刻みなおして、塩でもんで・・・という作業を、えんえん繰り返しているときの気分は、「キャベツ地獄」でした。高さ30センチほどの籠がキャベツで一杯になったところで、重石をして完了。時計を見ると、四時間が経過していました。

翌日にはもう発酵してきたので、冷蔵庫に入れました。ここで汁をかなり捨てたので、大きな保存容器に入りきるくらいの量になっていました。そして、寝かせること一週間。いざ食べてみたところ、自分でも驚くほどおいしくできていました。(手前ザワークラウト、ですが・・・)しばらくの間、好きなときに好きなだけ食べられる「キャベツ天国」を楽しみました。